

# 私立 高崎商科大学 高崎商科大学短期大学部

取組名称 **キャリア形成支援及び就職力向上プログラム**

取組担当者 **キャリアサポート室長 森本 圭祐**

## 1. 本学の概要

高崎商科大学は、1906(明治39)年に創立された私立裁縫女学校を母体として2001(平成13)年4月に開設された。共同取組先である高崎商科大学短期大学部についても同様に、同裁縫女学校を母体として1988(昭和63)年4月に設立され、高崎商科大学とともに群馬県高崎市根小屋町をキャンパスとする地域に密着した大学である。

2010(平成22)年4月より学部名称を流通情報学部から商学部に変更し、現在は商学部のみを持つ単科大学となっている。1学年の定員は195名であり、2010(平成22)年5月の時点で合計738名の学生が学ぶ大学である。

「自主・自立」を建学の精神とし、広く深い教養を培い人格の陶冶に努めつつ専門的な教育を施し、産業の興隆並びに文化の発展に貢献し得る有為な人材を育成することを目的としている。また、教育理念として「実学重視」「人間尊重」「未来創造」を掲げ、教養教育と商学に関する専門基礎・応用科目の教育を通じて、高度な知見と専門的能力及び総合的な判断力、創造力を有した、高度な知識基盤社会を支える教養ある人材を育成することを教育目的としている。

## 2. 本取組の概要

本取組は学生が社会に出るに当たり必要とされる基礎的能力を身に付けるためのキャリア形成と就職採用試験等に直接影響する就職力の向上を目的とする。

キャリア形成プログラムでは低学年からコミュニケーション能力の啓発と「働く」ことに対する意識付けを主とした講座を設ける。大学1年次から3年次と短期大学1年次を対象に前期全10回の講座を実施し、キャンパスライフや就職についての内容をテーマとしたディスカッションを多く取り入れた内容とする。また、低学年を対象とした夏季集中講座を開設し、社会に出るにあたっての心構えや自己分析を中心に行う。

就職力向上については大学3、4年次及び短期大学1、2年次を対象としたスポット講座の開催を主に行っていく。後期授業期間に毎週行う「就職活動支援講座」では企業の人事担当者を招き、企業・業界研究を行うコマを設ける。また、企業・業界研究の一環として学内合同企業説明会を開催する。学内合同企業説明会は従来より開催期間を延長し、2日間連続開催とし、学生により多くの企業と出会う機会を設ける。

## 3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

本取組は、学生が社会に出るにあたり必要とされる基礎的能力を身に付けるためのキャリア形成と就職採用試験等に直接影響する就職力の向上を図り、就職活動への円滑な移行を目的とする。キャリア形成支援により、就職への意識付け及び基礎能力の底上げを行い、就職活動への導入部分を支援する。「就職活動支援講座」では就職活動におけるノウハウから業界・企業研究まで幅広く盛り込み、就職力の向上を目指す。

### (1) キャリア形成支援

1つ目の柱であるキャリア形成支援プログラムでは、前期から以下の講座を実施する。

- ・コミュニケーション能力開発講座 全10コマ
- ・夏季集中就活対策講座 全10コマ
- ・金融業界ガイダンス 1コマ

これらは全て大学1年次から3年次及び短期大学1年次の低学年を対象としたガイダンスとなる。コミュニケーション能力開発講座では「聴く」「考える」「話す」の基礎的能力を高める。夏季集中就活対策講座では、自分を理解し、情報を分析し、相手に伝える力、すなわち「発信力」を養う。金融業界ガイダンスでは、業界のイメージと一般的な経済知識を伝える。

また、短期大学1年次を対象とした社会人キャリア力検定試験も実施し、自己理解を深めるとともに弱点の強化や長所を更に伸ばす材料とする。

後期には同じく大学1年次から3年次及び短期大

学1年次対象のグループディスカッション講座を実施し、個々のディスカッション能力を高める。

## (2) 就職力向上

まず夏季休業を利用し、大学1年次から3年次及び短期大学1年次を対象とした夏季集中SPI講座を実施する。筆記試験の対策については短期間での対応が難しく、低学年からの地道な勉強が必要となるため、早い時期から準備を行う。

前期には出足が遅れた大学4年次及び短期大学2年次に対してスポット講座としてフォローアップガイダンスを必要に応じて実施する。内容は履歴書やエントリーシート の書き方やビジネスマナーを中心とし、早期に活動を開始できる様、後押しをするのが目的となる。

後期には大学3年次及び短期大学1年次を対象とした全13回に亘る就職活動支援講座を実施する。講座出席率を高めるため、履修登録を行い授業と同じ位置づけであることを認識させるとともに、スケジュール調整を事前に促す。講座内容は就職活動の全体の流れや学内提出書類等の説明から、筆記・面接試験等のノウハウまでを網羅する。

2月には大学3年次及び短期大学1年次を対象とした業界・企業研究の一環としての学内合同企業説明会を開催する。各業界を知り、企業を知ることにより就職におけるミスマッチを防ぐとともに、学生が希望する業界や企業のイメージを膨らませ、積極的な就職活動を促すことが狙いである。

## 4. 本取組の具体的内容・実施体制

「キャリア形成支援及び就職力向上プログラム」の中でも特に主たる取組について、以下に具体的内容及び実施体制を紹介する。

### (1) キャリア形成支援

#### (i) コミュニケーション能力開発講座

大学1年次から3年次及び短期大学1年次を対象とし全10回の講座を実施する。講座には他校でもキャリアデザインやコミュニケーション関係の講座を多く受け持つ山口博美氏を講師に招き、キャンパスライフや就職についての内容をテーマとしたグループディスカッション及びプレゼンテーションを中心とした講座を展開し、「聴く力」「考える力」「話す力」を養う。ディスカッションのテーマをキャンパスライフや社会、

仕事等に絞ることにより、「働く」ことに対する意識付けも同時に行う。

原則として毎回ディスカッションを行うが、講座に対して円滑に導入するため、第1回目及び第2回目はゲーム感覚を取り入れた内容とし、学生参加型の体制を確立する。第3回目以降より本格的なディスカッションに入り、対人コミュニケーションにおけるテクニックを学ぶ。最終の2回を主にプレゼンテーションのコマとして設け、自己表現力を身に付ける。



写真1 コミュニケーション能力開発講座

#### (ii) 夏季集中就活対策講座

大学1年次から3年次及び短期大学1年次を対象に夏季休業中を利用して開催する。講座は全10コマとし、1日午前中2コマを5日間行う。元NHKアナウンサーであり就職指導に関する多くの実績を持つ森吉弘氏を講師に招き、文章力と具体的に伝える力に焦点をおいた講義を展開する。

最初の2日間は文章力を高める授業として、自己分析と自己PRの作成に重点を置き、今までの振り返りと書く作業を徹底的に行う。また、課題として「自分の広告」も作成させ、自分の強みを把握する。同時に学生を5名程度のグループに分け、お互いチェックを行う。

次の2日間をプレゼンテーションに費やす。初日2日間で作成した自己PRを基に各自プレゼンテーションを行い、相互評価も行う。また、グループで発表内容についてディスカッションも行う。

最終日には「仕事」に対する意識を高めるため、業界や職種についてグループ毎に考える時間を作る。業界や職種に対する理解を深め、今後のビジョンを明確にすること、並びに話し合いに必要な発信力を育成するのが狙いとなる。

講座全体を通して、「文章力」「発信力」を養うとと

もに、キャリアデザイン力を身に付けるのが目的となる。

### (iii) 社会人キャリア力検定試験

短期大学1年次を対象として社会人キャリア力検定試験を前期の6月を目途に実施する。短期大学においては、実質高等学校を卒業し約半年で就職活動を開始することになる。そのため、自己理解が不十分になりがちであり、自分の位置を確認する作業が必要となる。

本試験は現段階での社会人としての基礎力測定と自己分析を主たる目的としており、有志ではなく短期大学1年次は全員が対象となる。そのため、各教員の協力を得て教養演習等の必修授業内での実施となる。

学生が現時点での各々の能力を把握することにより、自らの今後の課題や後期のインターンシップ等に取り組むべき内容を明確化する。また、検定試験の結果を受け、各教員の教養演習等における学生指導の材料とすることも可能であり、個々の能力を把握した上でのきめ細かな指導に繋げる。

## (2) 就職力向上

### (i) フォローアップガイダンス

大学4年次及び短期大学2年次を対象にキャリアサポート室職員が実施。就職活動に対して出足の遅れている学生を対象とした講座であるため、前期のみの実施となる。講座開催の周知は学生全体に対して行うが、キャリアサポート室で把握している学生の就職活動状況データを確認し、活動が滞っている学生に対しても個別に声を掛け講座参加を促す。

本講座は昨年度に実施した「就職活動支援講座」の復習と位置付けており、内容はニーズに応じたものとなる。昨年度末に実施した講座アンケートに基づき、学生がより望んでいる内容とし、理解が浅い部分をカバーするのが目的である。主にビジネスマナーや企業へのアプローチの仕方（メールの書き方、文書の書き方、電話の掛け方等）、倫理憲章等ルールの徹底、履歴書の書き方等が中心となる。

履歴書・エントリーシートを講義する場合は自己分析から自己PR、志望動機の書き方を先輩の実例を織り交ぜながら説明する。

基本的に1コマのみのスポット講座となるが、学生の履修状況を勘案し、同内容を3回から4回程度実施する。

### (ii) 就職活動支援講座と電子黒板導入

大学3年次及び短期大学1年次を対象にキャリア

サポート室職員が実施する。本講座は後期授業とほぼ同時進行で進められ、毎週実施し全13回となる。但し全ての学生が同じコマに参加が可能ではないため、水曜日の5限と金曜日の5限の2コマを設け、全く同じ内容を行う。講座参加率を高めるため対象学年全ての学生は履修登録を行い、どちらかのコマを時間割に組み込むことになる。

本講座の内容は就職活動全体を網羅し、倫理憲章の説明から順を追って筆記・面接試験、内定等までを解説する。また、最終3回は企業・業界研究として、企業の人事担当者を招き、企業や業界に対するイメージを明確にする。卸売・小売業関係では車のディーラーを中心とし、金融業では地元の銀行及び信用金庫を招く予定となっている。2010(平成22)年度カリキュラムは以下のとおりとなる。

- ① 就職活動の流れⅠ 情報収集、学内の決まり
- ② 就職活動の流れⅡ 倫理憲章、ビジネスマナー
- ③ 就職情報サイト活用法
- ④ 自己分析と履歴書Ⅰ
- ⑤ 外部講演 自己分析
- ⑥ 筆記試験対策 SPI2 言語、非言語
- ⑦ 各業界について
- ⑧ 自己分析と履歴書Ⅱ
- ⑨ 合同企業説明会参加にあたって
- ⑩ 面接・グループディスカッションの留意事項
- ⑪ 企業・業界研究Ⅰ 卸売・小売業
- ⑫ 企業・業界研究Ⅱ 金融業
- ⑬ 企業・業界研究Ⅲ アパレル

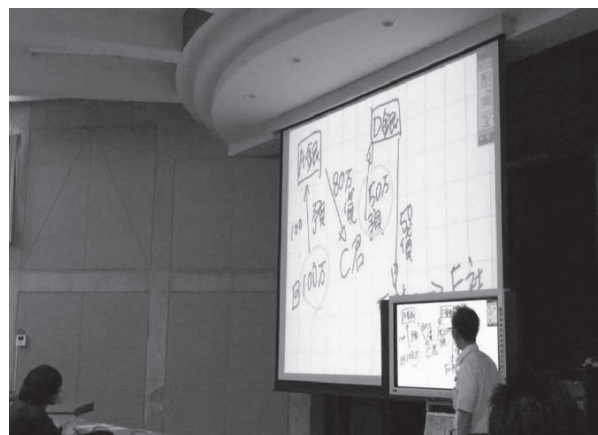


写真2 就職活動支援講座・電子黒板

本講座はより質の高い講座提供と学生の理解度を高めるため、電子黒板を使用する。分かり易い講義内容を展開するため、聴覚以外に視覚にも訴え、画像やインターネット画面を組み込んだ1つの教材として使

用する。また、大教室においてプロジェクタースクリーンを黒板として使用することも可能となっており、より幅の広い講義を展開することが可能となる。

### (iii) 学内合同企業説明会

大学3年次及び短期大学1年次を対象に学内合同企業説明会を開催する。業界・企業研究の一環として、多くの業界に触れる機会を提供し、学生の「働く」ことに対するイメージを湧かせ、就職活動の活性化を図り、ミスマッチを未然に防ぐ目的で行う。

外部にて実施される合同企業説明会と比較し、より多くの時間を説明に割いて頂く様、企業側には依頼しており、学生の業界知識をより深めることも可能となる。また、2日間実施を行うことにより、単純に2倍の時間を学生に与えることとなり、従来と比較しより多くの企業や業界と触れる機会が得られ、活発な就職活動に向けてスタートを切ることが可能となる。

学内合同企業説明会終了時には企業に対してのアンケートを実施し、今後の学内合同企業説明会の在り方や実施時期、適性な企業数を今後の検討材料とする。それと同時に学生に対してもアンケートを行い、面談時間は適性であったか、どの様な企業に参加してもらいたいかや、実際にブースを訪問した件数等を調査し、本取組の効果を検証する。

## 5. 本取組の評価体制・評価方法

### (1) 学生による評価

本取組により実施した講座においては、講座終了時に参加学生全員に対してアンケート調査を行う。主に講座満足度と不満に感じた点について意見を収集し、次年度以降の見直し材料とする。

また、年間を通してキャリアサポート室の就職活動支援体制について卒業学年を対象にアンケート調査を実施する。より多くの意見を収集するため、実施時期を2月下旬の成績発表日に指定し、アンケート回収率を高める。学生のニーズに沿った支援体制や情報提供方法の構築と、講座企画の改善を目的とする。

### (2) 教職員による評価

2月に実施した学生アンケート調査結果及び取組内容の実施状況を受け、大学及び短期大学の各就職委員会において本取組の効果と検討事項を確認、評価する。同時に他大学の就職活動支援体制等の取組との比較・検討を行い、次年度に反映させる。

また、毎月行われる大学及び短期大学の就職委員会

において、都度本取組における講座の参加状況やアンケート結果を検証する。可能な限り各就職委員会に属する教職員が講座に同席し、講座内容を評価し、各委員会において報告を行う。

## 6. 本取組の実実施計画等

本取組は年間を通して学生のキャリア形成支援及び就職力向上を図るものである。実施計画は以下のとおりとなる。

- |          |                                     |
|----------|-------------------------------------|
| ① 4月～7月  | コミュニケーション能力開発講座                     |
| ② 5月     | フォローアップガイダンス                        |
| ③ 6月     | 社会人キャリア力検定試験                        |
| ④ 7月     | 講座用電子黒板の導入                          |
| ⑤ 7月     | 履歴書・エントリーシート講座                      |
| ⑥ 7月・1月  | 大学2年 キャリアガイダンス                      |
| ⑦ 8月     | 夏季集中就活対策講座                          |
| ⑧ 9月     | 夏季集中SPI講座                           |
| ⑨ 10月～1月 | 就職活動支援講座（全13回）                      |
| ⑩ 12月    | グループディスカッション講座                      |
| ⑪ 1月     | 就職支援講座アンケート調査                       |
| ⑫ 2月     | 学内合同企業説明会事前ガイダンス                    |
| ⑬ 2月     | 好感のもたれるメイク講座                        |
| ⑭ 2月     | 就職支援に関するアンケート調査                     |
| ⑮ 2月     | 学内合同企業説明会（2日間）                      |
| ⑯ 3月     | 短期大学1年次対象グループ面接練習                   |
| ⑰ 3月     | アンケート調査結果等を受け大学・短期大学の各就職委員会にて検討会を実施 |